

三菱ガス化学株式会社とのパラキシレン事業にかかわる提携について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、石油化学製品の増産体制を強化するため、三菱ガス化学株式会社(社長:小高 英紀、以下三菱ガス化学)との間で、パラキシレン事業について提携をすることを決定しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、今後中国を中心に石油化学製品需要がますます拡大することが見込まれるアジア市場をにらみ、第3次連結中期経営計画(2005～2007年度)において、CRI(Cheical Refinery Integation、石油精製と石油化学の一体化)を推進していく事業戦略を策定しております。

今回は、当該事業戦略に沿って、収益性の高い石油化学製品であるパラキシレンについて、三菱ガス化学と事業提携するものです。現在、三菱ガス化学ほかが出資しているパラキシレン生産会社である『水島パラキシレン株式会社』について、三菱ガス化学がこれを100%出資とした上で、2006年4月を目途に当社がその発行済み株式の51%を取得いたします。

当社は、自社グループの仙台製油所において2007年末に完成予定の連続触媒再生式プラットフォームング装置にて増産されるキシレン等を同社に持ち込むことにより、パラキシレンの増産を実施し、原油から石油化学製品までの一貫生産体制を拡大・強化するものです。

今回の事業提携に伴い、同社のパラキシレン生産能力を順次年間35万トンまで増強する計画で、2007年12月には当社の第3次連結中期経営計画の目標である年間140万トンのパラキシレン生産体制を達成する見込みとなります。

記

1. パラキシレン事業提携の概要

(1) 合併会社の概要

- 1) 社名 : 水島パラキシレン株式会社
- 2) 資本金 : 1億円
- 3) 出資比率 : 当社51%、三菱ガス化学49%

(2) 事業提携開始 : 2006年4月1日

(3) パラキシレン生産能力

開始当初は年間28万トン、2007年に年間35万トンへ設備増強予定

以上

新日本石油精製(株)水島製油所と三菱ガス化学(株)水島工場



パラキシレンを中心とする石油化学製品製造フロー

